

# 經濟論叢

第161卷 第1号

野澤正徳教授記念號

---

献 辞	本 山 美 彦	
G. リューメリンの社会統計論	長 屋 政 勝	1
イギリスの福祉改革とボランティア組織	川 口 清 史	34
ヘーゲル論理学・有論 「質」と「資本」の論理	角 田 修 一	48
インターネット／イントラネットの 経済的・社会的利用の諸形態	小 林 正 人	68
各国通貨単位の資本労働比率変動と マクロ収穫率	大 西 広	93
投入産出構造・緩衝在庫・販売予測	森 岡 真 史	108
外生性の実践的検定手法	井 宮 泰 秀 崎 憲 治	133

野澤正徳 教授 略歴・著作目録

---

平成10年1月

京 都 大 学 経 済 学 會

## 野澤正徳 教授 略歴

- 1935 (昭和10) 年2月19日 神戸市灘区に生まれる
- 1955 (昭和30) 年3月 大阪府立岸和田高等学校卒業
- 1955 (昭和30) 年4月 京都大学法学部入学
- 1956 (昭和31) 年4月 京都大学経済学部転入
- 1959 (昭和34) 年3月 京都大学経済学部卒業
- 1959 (昭和34) 年4月 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1962 (昭和37) 年3月 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1962 (昭和37) 年4月 京都大学大学院経済学研究科博士課程入学
- 1965 (昭和40) 年3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
- 1965 (昭和40) 年4月 日本学術振興会奨励研究員 (1965年6月まで)
- 1965 (昭和40) 年7月 京都大学経済学部助手
- 1968 (昭和43) 年8月 京都大学経済学部助教授
- 1979 (昭和54) 年12月 土地制度史学会評議員 (現在に至る)
- 1984 (昭和59) 年4月 フランス社会科学高等研究院に留学 (1985年1月まで)
- 1986 (昭和61) 年7月 京都大学経済学部教授 (統計学講座担任)
- 1987 (昭和62) 年3月 京都大学経済学博士の学位授与
- 1988 (昭和63) 年7月 日本統計学会評議員 (1994年6月まで)
- 1988 (昭和63) 年10月 日本学術会議 (第14期) 経済統計学研究連絡委員会委員 (1991年9月まで)
- 1991 (平成3) 年10月 日本学術会議 (第15期) 経済統計学研究連絡委員会社会  
経済統計教育小委員会委員 (1994年9月まで)
- 1994 (平成6) 年11月 経済統計学会代表運営委員 (1996年10月まで)
- 1995 (平成7) 年4月 京都大学評議員 (1998年3月まで)
- 1995 (平成7) 年4月 京都大学大学院審議会審議員 (1998年3月まで)
- 1996 (平成8) 年4月 京都大学経済学部経営学科長 (1997年3月まで)
- 1997 (平成9) 年4月 京都大学大学院経済学研究科教授 (統計・情報分析講座  
担任) (1998年3月まで) 京都大学経済学部を兼任
- 1997 (平成9) 年4月 京都大学大学院経済学研究科長 (1998年3月まで)  
京都大学経済学部長に併任
- 1998 (平成10) 年3月 京都大学大学院経済学研究科・経済学部を停年により退  
官

148 (148)

第161卷 第1号

非常勤講師：九州大学，京都府立大学，立命館大学，大阪経済大学，種智院大学，  
中国・西北大学，西安統計学院，等

## 野澤正徳 教授 著作目録

## 編 著 書

- 統計日本経済分析 上 (共編者：伊藤陽一・岩井浩・川口清史・木下滋等, 統計指標研究会) 新日本出版社 1977年10月
- 統計日本経済分析 下 (共編者：伊藤陽一・岩井浩・川口清史・木下滋等, 統計指標研究会) 新日本出版社 1978年1月
- 大月 経済学辞典 (共編者：置塩信雄・宮本憲一等, 辞典編集委員会) 大月書店 1979年4月
- 講座 今日の日本資本主義・第10巻 (共編者：置塩信雄) 大月書店 1982年9月
- 日本経済の数量分析 (共編者：置塩信雄) 大月書店 1983年7月
- 現代の階級構成と所得分配 (共編者：野村良樹・坂寄俊雄・戸木田嘉久) 有斐閣 1984年9月
- 現代社会を考える (共編者：小野秀生・清野正義他) 法律文化社 1987年12月
- 自立と協同の経済システム (共編者：木下滋・大西広) 大月書店 1991年4月

## 論 文

- 経済研究における統計的法則性の意義 経済統計研究会「統計学」第12号, 産業統計研究社 1964年3月
- 国勢調査と階級構成 経済統計研究会関西支部「社会科学と統計」No. 1 1965年7月
- 戦後日本の労働者階級の構成—上層と下層— 経済評論 第14巻8号 1965年8月
- Die Struktur der Japanischen Arbeiterklasse in der Nachkriegszeit. (Übersetzt von Karl F. Zahl) Deutsche Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens, KAGAMI, Japanischer Zeitschriftenspiegel, 4 Band, 1 Heft, 1966 1966年10月
- 静学的産業連関論と再生産表式(1) 京都大学経済学会 経済論叢 第98巻6号 1966年12月
- 静学的産業連関論と再生産表式(2) 経済論叢 第99巻4号 1967年4月
- 部門連関バランスと社会的生産物 経済論叢 第100巻4号 1967年10月
- 部門連関バランスの諸形態と固定フォンド(1) 経済論叢 第101巻2号 1968年2月
- 部門連関バランスの諸形態と固定フォンド(2) 経済論叢 第101巻4号 1968年4月
- 経済計画化における部門連関バランスの意義と限界 経済論叢 第102巻1号 1968年7月

部門連関バランスの諸形態と固定フォンド(3)	経 済 論 叢 第102巻3号	1968年9月
経済統計学の課題	経済統計研究会関西支部「社会科学と統計」No. 3	1972年6月
産業連関表	大橋隆憲・高木秀玄・大屋祐雪編「経済統計」有斐閣	1973年3月
自治体の統計活動	経済統計研究会関西支部「社会科学と統計」No. 4	1973年7月
高度成長による階級構成の変化(共編者：川口清史・小野秀生・泉弘志・木村隆之)	田口富久治編「講座現代日本資本主義・第3巻」青木書店	1973年9月
Capital Accumulation and Changes in the Structure of the Labouring Classes in Japan since 1960. (co-author: K. Kawaguchi)	The Kyoto University Economic Review, Vol. 44, No. 1-2	1974年10月
経済統計論の対象と性質	経 済 論 叢 第115巻3号	1975年3月
不況下の失業と不安定雇用の増大	経 済 第140号	1975年12月
高度蓄積と労働者階級の構成(共著者：川口清史)	大橋隆憲編「戦後日本資本主義の階級構成」有斐閣	1976年6月
経済統計	経済統計研究会「社会科学としての統計学—日本における成果と展望(「統計学」第30号)」産業統計研究社	1976年8月
統計学の現代的課題	経済統計研究会「社会科学としての統計学—日本における成果と展望(「統計学」第30号)」産業統計研究社	1976年8月
長期不況下の物価と階層別消費支出	京都自治問題研究所「消費者問題と消費者行政」法律文化社	1978年11月
今日の雇用・失業問題と経済の民主的再建の課題	京都自治問題研究所「暮らしと自治」第5号	1980年5月
民主的改革の基本問題	置塩信雄・野澤正徳編「講座今日の日本資本主義・第10巻」大月書店	1982年9月
The Alternative Economic Strategy in Japan	The Kyoto University Economic Review, Vol. 52, No. 1-2.	1982年10月
大橋隆憲先生と社会階級構成論・障害者統計論	経 済 論 叢 第131巻6号	1983年6月
経済統計をどう使うか—統計的法則	高木秀玄・大屋祐雪・野村良樹編「経済統計学講義」有斐閣	1984年2月

- |   |  |               |
|---|--|---------------|
| 現代の階級対抗, 国家と民主的改革   | 坂寄俊雄・戸木田嘉久・野村良樹・野澤正徳編「現代の階級構成と所得分配」有斐閣               | 1984年9月       |
| 数量モデル分析と統計学・蠅川理論(1)   | 経済論叢 第138巻1・2号                                       | 1986年<br>7・8月 |
| 統計学の基本問題Ⅰ統計学基礎論へのコメント   | 経済統計学会編「社会科学としての統計学・第2集(『統計学』第49・50号)」産業統計研究社        | 1986年8月       |
| 現代経済統計論(学位論文)   |  | 1987年3月       |
| A Multi-Sectoral Econometric-Model Divided by Social Strata of the Japanese Economy (co-author: H. Ohnishi) | The Kyoto University Economic Review, Vol. 57, No. 1 | 1987年4月       |
| 21世紀への展望を   | 小野秀生・清野正義・野澤正徳, 他編「現代社会を考える」法律文化社                    | 1987年12月      |
| 日本における経済民主主義論の展開  | 経済科学通信 55号   | 1988年3月       |
| 産業連関表と再生産表式   | 富塚良三・井村喜代子編「資本論体系4・資本の流通と再生産」有斐閣                     | 1990年4月       |
| 談日本産業的發展(訳:孫曉娟)   | 中国・西北大学編「西北大学学报・哲学社会科学版」1990年第3期                     | 1990年8月       |
| 二十一世紀・自立と協同の経済システム  | 野澤正徳・木下滋・大西広編「自立と協同の経済システム」大月書店                      | 1991年4月       |
| 協同・分権・参加型企業の展望  | 協同総合研究所「仕事の発見」第21号                                   | 1992年3月       |
| Liberty and Cooperation Perspectives of Alternative Economic System in Japan in 21st Century                | The Kyoto University Economic Review, Vol. 62, No. 1 | 1992年4月       |
| 自由社会主義の展望   | 大西広・溝端佐登史・木原正雄編「経済システムの転換」世界思想社                      | 1993年7月       |
| 「協同・分権・参加」企業の展望と市場メカニズム   | 京都大学経済学部ポスト大企業研究会「大企業体制の変容と課題」経済学部                   | 1994年3月       |
| 統計学の現代化と情報ネットワーク  | 木下滋・泉弘志・大西広・藤江昌嗣・藤井輝明編「経済統計学の現代化」晃洋書房                | 1995年6月       |
| 社会統計学のアイデンティティと課題   | 経済統計学会「社会科学としての統計学・第3集(『統計学』創刊40年記念第69・70号)」         | 1996年3月       |

サーヴェイ：インターネット統計情報の現状と特性	経済統計学会「統計学」第71号	1996年9月
<b>学会報告</b>		
経済研究における統計的法則性の意義	経済統計研究会 第7回全国総会・共通論題	1963年7月
日本経済の統計指標と統計批判 (共同報告者：岩井浩)	経済統計研究会 第18回全国総会・共通論題	1974年7月
統計分析：危機における国民所得の階級・階層別分配構成	土地制度史学会秋期学術大会・共通論題「戦後再生産構造における労働力編成」	1977年10月
数量モデル分析と滝川統計解析論	経済統計学会第30回全国総会	1986年10月
経済学と統計的方法	経済統計学会第31回全国総会、シンポジウム	1987年6月
市場メカニズムと協同・分権・参加型企業	経済理論学会第39回大会 (「経済理論学会年報」第29集, 1992年9月)	1991年10月
インターネットと統計情報—統計学から統計情報学へ	経済統計学会第39回全国総会、シンポジウム	1995年9月
インターネット統計情報の意義と課題	経済統計学会第40回全国総会	1996年10月
イントラネット・エレクトロニックコマース・電子マネーの現状と課題	経済統計学会第41回全国総会	1997年9月
<b>序 文</b>		
本巻の課題と構成 (共著者：置塩信雄)	「講座今日の日本資本主義・第10巻」大月書店	1982年9月
はじめに—本書の課題と構成 (共著者：置塩信雄)	「日本経済の数量分析」大月書店	1983年7月
技術革新と労働・雇用—日欧比較：アンリ・ナデルシンポジウムについて	京都大学経済学会「調査と研究」第3号	1992年10月
刊行のことば	経済統計学会「社会科学としての統計学・第3集 (「統計学」創刊40年記念第69・70号)」	1996年3月
21世紀を切り拓くあなたに!	京都大学経済学部「経済学を学ぶために」	1997年4月
社会科学とインターネット	アジア経済研究所「ワールドトレンド」第30号	1997年12月
<b>統計研究</b>		
官庁統計の批判と利用 (国民所得統計)	経 済 109号	1973年5月
総理府統計局「国勢調査」(共著者：岩井浩)	経 済 114号	1973年10月

通産省「工業統計調査」	経	済	118号	文	1974年2月
労働省「賃金構造基本調査」(共著者： 川口清史)	経	済	123号		1974年7月
政府統計の基本的性格と統計批判の課題 (共著者：岩井浩)	経	済	124号		1974年8月
官庁統計制度の問題点と改革の方向(共 著者：岩井浩)	経	済	125号		1974年9月

## 辞 典

経済統計				「大月店 経済学辞典」大月書	1979年4月
統計指標				「大月店 経済学辞典」大月書	1979年4月
産業構造の統計分析				「大月店 経済学辞典」大月書	1979年4月
相対的過剰人口の推計				「大月店 経済学辞典」大月書	1979年4月
工業統計				「経済学辞典 第3版」岩波書店	1992年1月
蜷川虎三				「日本歴史事典」小学館	1998年 (近刊)

## 書 評

大橋隆憲「日本の統計学」	経	済	16号		1965年10月
横倉弘行「経済学と数量的方法」青木書店	経	済	173号		1978年9月

## 翻 訳

ソ連科学アカデミー中央数理経済研究所 編「経済学と数学的方法」(Экономика и Математические Методы) 目次： 1965(創刊号) — 66年	統	計	学	第17号	1967年3月
イ・ゲ・マールイ「資本論と統計」(И.Г. Малый, Вопросы Статистики в "Капитале" Карла Маркса) 第4章 資本論における経済統計の諸問題, 1, 2, むすび				是永純弘監訳「資本論と統計」 大月書店	1980年2月
「中国の特色をもつ社会主義統計理論の 建設—中国第五次全国統計科学討論会 論文選」紀要(序言—中国統計学会・ 岳巍会長)(共訳者：孫曉娟)	統	計	学	第57号	1989年9月



## 追 憶 文

河上肇先生の統計利用と「無意味な相関」	第30回河上祭実行委員会「河上祭プログラム」	1976年5月
統計学者・大橋隆憲先生を偲ぶ	「天空委鳥飛一大橋隆憲先生追悼文集」	1984年3月
あとがき	「現代の階級構成と所得分配(大橋隆憲先生追悼論文集)」	1984年9月
優しさと激しさと	「追想 上杉正一郎」	1991年1月
川口是先生を偲ぶ	「友愛・団結・連帯—川口是先生追悼文集」	1992年11月

## 新 聞

京大戦後学生運動史第28, 29, 30回	「京都大学新聞」	1962年5月 7, 14, 21日
トラさんの統計学(インタビュー)(京都大学 ひと新世紀 650回)	「京都新聞」	1986年 11月5日

## 社会的活動

大学院白書の再刊にあたって	京都大学大学院生協議会「京都大学大学院白書・1961年」	1963年6月
エジプト・カイロより：商売にはシビア、人なつっこいアラブ人	京都大学職員組合「職組新聞」91年度6号	1991年 10月3日
92年、京大の革新を!	京都大学職員組合「職組新聞」91年度12号	1992年 1月9日
京都大学の改革・改組について—問題提起	京都大学職員組合中央執行委員会	1992年3月
ライフスタイル・チェンジ—みんなで休めばこわくない	京都府交通・労働災害救済事業団「健康と安全」No. 37	1994年1月